Press Release

舞鶴市 MAIZURU CITY

報道関係者各位

令和7年7月4日

舞鶴市と日本工営株式会社
インフラ維持管理におけるDX推進で連携協定を締結

舞鶴市は、このたび、日本最大手の建設コンサルタントである日本工営株式会社と、**日本初**の取組みである高潮予測ガイダンスを活用した道路冠水対策の実証など、インフラ維持管理におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進のための連携協定を締結し、**協定締結式**を開催いたしますので、お知らせいたします。

１．協定の名称

土木インフラのデジタルメンテナンスの推進に関する連携協定

２．目的

持続可能なインフラ維持管理を実現するため、日本工営株式会社が有する最先端の技術力と豊富な知見を活かし、共同研究を通じてDXを推進します。これにより、市民サービスの質を向上させ、安全・安心なまちづくりに貢献することを目的とします。

３．協定締結式

（１）　日時　令和7年7月14日(月)午前10時～午前10時30分
（２）　場所　舞鶴市役所　本館3階　301会議室
（３）　内容　協定書署名、あいさつ等
（４）　締結式出席者（敬称略）

日本工営株式会社	代表取締役社長	福岡 知久
	大阪支店長	高祖 成一
舞鶴市	市長	鴨田 秋津
	建設部長	小西 征良

SDGs未来都市

舞鶴市　土木課（担当：尾橋・櫻井）
〒625-8555 舞鶴市字北吸1044
TEL:0773-66-1053、FAX：0773-62-9894
E-mail:doboku@city.maizuru.lg.jp

４．協定に基づく連携及び協力項目

◇ 予測技術を活用した道路冠水情報の活用実証

▶ 各種観測情報や予測情報を活用し、舞鶴市特有の高潮や大雨などによる道路冠水の発生を事前に把握し、市民への迅速な情報提供や対策に繋げます。

◇ IoT技術を投入した遠隔監視の実証

▶ センサーなどのIoTデバイスを活用し、インフラ施設の状況を遠隔でリアルタイムに監視することで、効率的な点検・保守を実現します。

◇ 包括的民間委託導入を見据えたインフラ管理情報の集約・一元化に向けた活用実証

▶ 複数のインフラ施設の管理情報をデジタルで集約・一元化し、包括的な民間委託導入を見据えた効率的かつ高度なインフラマネジメント体制を構築します。

舞鶴市　土木課（担当：尾橋・櫻井）
〒625-8555 舞鶴市字北吸1044
TEL:0773-66-1053、FAX：0773-62-9894
E-mail:doboku@city.maizuru.lg.jp